運営会議(前 まちの課題整理プロジェクトチーム) における 課題整理状況 (第40回 全体会 資料) 2023/6/21

分輛4

【身体障がい者・知的障がい者

地域生活移行推進プロジェクトチーム】

- ・第34回全体会(令和2年6月)にてプロジェクトチームより地域生活支援拠点に関する提管書を提出。令和3年4月、札幌市に地域生活支援拠点が設置される。設置後の検証・検討の場について検討することが承認される。
- ・第36回至徐公(作前3年6月)にて、身体障がい者、知的障がい者の地域移行に関する課題の抽出を専門部会、各地域部会で行うことについて承認。課題抽出を依頼中。

【精神障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム】

- ・ 平成30年度末でプロジェクトチームを終結。
- ・令和3年9月より礼儀市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討会にて課題検討を継続中。
- ※課題No. 下の () 内は課題提出年度

No. ^{ねんど} (年度)	事例、問題提起、困りごと	課題
物	誰が何を困っているのか? 〇〇が〇〇 〇〇という事例	○○という課題がある ○○が必要
41 (H26)	高次脳機能障害の方の日中活動について、送迎の無い事業所への通所に、移動支援を利用できるようにしてほしい。常文脳機能障害は脳の損傷値所によって非常に特異的な症状が現れるため、新しい道順を覚えることが極端に難しい場合がある。通所の訓練のため、個々の状態に合わせた期間の移動支援利用を認めてもらいたい。(東区24)	移動支援の対象者及び対象となる外出範囲を拡大してほしい。

プルネルボルを (in まちの課題整理プロジェクトチーム) 結果 カテゴリ としての見解 誰が ラムネいかいぎ きゅう かたいせいり 運営会議(旧まちの課題整理プロジェクトチーム)の見解を受けた結果、〇 荷を 〇部会による結果や協議会での議論の結果などを記載し、全体で共有する。 いつ どのように かだいせいりすみ 【課題整理済】 * 第28回札幌市自立支援協議会全体会で、移動に関する課題についての重 | 主:移動 • 「移動」に関する課題をまとめて、まちの課題整理プロ ラマムニラルメ 点項目などが承認され、移動に関する全市的検討会の設置を新「さっぽろ障 ジェクトチームとして解決への方向性(案)を検討した結 がい者プラン」に盛り込むよう働きかけ。 副:支援技 う しょうがいとく 法・障害特 乗、今後はその案をもとに別に検討会議を設けるか、あるい ・福祉のまちづくり推進会議で、自立支援協議会から出ていた課題について 性 は大学等の機関にも協力してもらい、移動に関する課題につ いて一体的に解決に向けた方向性を整理する予定。 とりしまがられないかという議論がされたが、具体化には至らず。(Mo.18と26) にも関連の記載あり) ・ 平成28年度、「瞳がいのある方の移動の支援に関するアン ケート」を委託相談を対象に実施。 • 運営会議 (H30. 12) にて移動に関するプロジェクトチーム立ち上げに向け てのワーキングチームよりプロジェクト趣旨、構成員について提案。プロ ・運営会議内に移動に関するワーキングチームを設置するこ ジェクト立ち上げを運営会議にて決定。第32回全体会でプロジェクトチーム とを決定。活動内容は主に課題整理と課題解決へ向けての方 の承認を目指す。 こうせいのていあん ウーキングチームからの提案内容につい ては、運営会議で検討する。活動期限は、まちづくり推進会 ていあん おこな へいせい30ねん6がつうんえいかいぎ ちーむかんばーなどけっ 提案を行うまで。(平成30年6月運営会議にて、チームメン 【令和元年度】 ・第32回全体会(R1.5月)にて、移動に関するプロジェクトチームの設置 バー等決定) ラヒニム ヒឆិがいごとの移動に関する聞き取り調査、課題整理等を行い、障が者 ゔ゚゚゚ラ゚ンへの提案を創指す。 ・移動に関するプロジェクトチームで、障がいのある方の移動に関する課 が、 題、移動の際に工夫していることを把握するため、移動に関するアンケート 調査を実施し、「さっぽろ障がい者プラン2018」改定に提案。 【令和2年度】 ・ 令和元年度に行なった移動に関するアンケート調査のまとめをし、改めて いどうかだい 移動課題についての整理を行なっている。福祉のまちづくり推進会議にプロ ジェクトのまとめを報告。 ・第35回全体会(令和2年12月)にて移動に関するプロジェクトチームのま とめ報告及びプロジェクトチームの終了について承認。残された課題につい ては、運営会議にて継続検討とする。

No. ねんど (年度)	事例、問題提起、困りごと	課題
例	誰が荷を困っているのか? 〇〇が〇〇 〇〇という事例	○○という ^{** たい} である ○○が必要
41 (H26) つづき		

運営会議 (旧まちの課題整理プロジェクトチーム) としての見解	結果	カテゴリ
離が 何を いつ どのように	運営会議(間まちの課題整理プロジェクトチーム)の見解を受けた結果、〇〇部会による結果や協議会での議論の結果などを記載し、全体で共有する。	
	【令和3年度】 ・第38回全体会(令和3年6月)にて、移動に関するプロジェクトチームの最終報告書を礼帳市のホームページに掲載することを決定。今後も報告書については、移動に関する困り事や工夫について周知するときに結果を利用することを依賴。残された課題について解決へ向けての検証の場を引続き運営会議や自立支援協議会の中に持っていくことを承認。・第37回全体会(令和3年12月)移動プロジェクトの成果(報告書)については運営会議で継続的に確認。・第37回全体会(令和3年12月)移動プロジェクトの成果(報告書)については運営会議で継続的に確認。・第37回全体会(令和3年12月)の成果(報告書)については運営会議で継続的に確認。・第37回全体会(令和3年12月)・第39回全体会(令和5年12月8日)とのように地域部会連絡会で報告・依頼している。報告書の内容についても協議会会長で引継ぎがされ、障がい者プランで検討してもらえるものは検討してもらうように働きかけていく。 【令和4年度】 ・第39回全体会結果(令和5年12月8日) ・第39回全体会結果(令和5年3月16日) 「記録されるとは、「令和5年3月16日)」 「記録されるとは、「会社のような、「会社のないな、「会社のないないないないないないないないないないないないないない	

	(分40回 主件云 具件)		
No. ねんど (年度)	事例、問題提起、困りごと	課題	
例	誰が何を困っているのか?○○が○○○○という事例	〇〇という課題がある 〇〇が必要	
6 (H24)	精神障がいのある方の穴居等に関する支援において、不動産産で障がいをオープンにすると部屋(賃貸住宅)の契約がしづらくなる。保証会社の審査が適らない(適りにくい)。(東区6)	●精神障がいに関する正しい情報提供を行う。	

運営会議(旧 まちの課題整理プロジェクトチーム)における課題整理状況 (第40回 全体会 資料) プルネルボルを (in まちの課題整理プロジェクトチーム) 結果 カテゴリ としての見解 誰が 荷を ラスヘスいかいぎ(セルラ) 運営会議(旧まちの課題整理プロジェクトチーム)の見解を受けた結果、〇 〇部会による結果や協議会での議論の結果などを記載し、全体で共有する。 いつ どのように ・中央区地域部会で、宇建協会作成の『一人暮らしガイドブック』の分かり | 主:住まい 「課題整理済】 ┗テデがい者の住まいの課題のため、3と一緒に検討する。 やすい版が完成。 ①東区地域部会でビッグの方を招いて「障がい者の住まい」 ・ 平成30年度、ガイドブックを札幌市のホームページに掲載。市民便利帳に についての研修会を行う予定であるので、他の地区とも合同 もガイドブックの案内を掲載。 ・ 令和元年度、一人暮らしガイドブック周知のためのちらし作成。 で出来ないか検討する。 ②精神障がい者のみではなく、障がいのある方の入居に関し ては、福祉側からの働きかけも必要だと考えられるので、不 【参考】 ・「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律」(平成 動産・借家が安心できるようなパンブレットを作成する ③方法として、運営委員が各地区1 - 2名ほど住宅問題に関し 19年法律第112号)第51条に基づき、令和2年1月に札幌市居住支援協議会 て興味のある人に集まってもらうよう呼びかけをして、そこ が設置された。また、居住支援相談窓口「みな住まいる札幌」が開設。 http://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/kyojuusienkyougikai.html らう ④まずは運営会議に相談する 【令和3年度】 ⇒「市営住宅の単身入居を含む住まいの問題」として課題を * 第36回全体会(令和3年6月) 理を行った(25年度実施、26年度から中央区地域部会にて引 しょうじょう ほうこく しゅうりょう しょうにん じりっしぇんきょうぎかい きょじゅうしぇんきょうぎかい クト終了の報告。終了について承認。自立支援協議会と居住支援協議会との っつきけんとう いらい き締き検討を依頼) ホムサロン 連携については、相談支援部会に引継ぎ。「一人暮らしガイドブック」の周 ララ。 知については運営会議に引継ぎ、その他の残された課題についても運営会議 に引き継がれることを確認。 * 協議会運営会議(令和3年7月) すまいプロジェクトから引継がれた居住支援協議会と相談支援専門員との

住まいプロジェクトから引継がれた居住支援協議会と相談支援専門員との 連携について敬めて確認。コロチ禍ということもあるため、時期をみて連携 について検討することに。

- 一人暮らしガイドブックの配布方法について確認。
- ・ 計算をしまなどかいぞかいをおう。 きょいうしょ やきょうぎかいそうだかまどぐち へんきょうかい きんか れいわ ねん ・ 相談支援部会部会長が居住支援協議会相談窓口の勉強会に参加(令和4年 かつ 2月)

^{れいわ ねんど} 【**今和4年度**】

- * 協議会運営会議 (令和5年3月16日)
- はんぱー No. 41の記載と同様。

https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/tiikijiritusien/documents/koujireisyuu.pdf

No. ねんど (年度)	事例、問題提起、困りごと	課題
**·\ 例	誰が何を困っているのか? ○○が○○ ○○という事例	○○という課題がある ○○が必要
35 (H25)	〇一人著らしの不安 これから一人書らしを始めようとする人たちが持つ不安に対してどのように支援をしてゆくのか。長い時間、入所施設の物・競売を発していた時がい者が、これまで経験したことで暮らしていた時がい者が、これまで経験したことで表したが、一人者らしを始めようとする際、少なからず不安を覚えるであろうことは想像に難くない。特にその日常生活にさまざまな支援を必要とする障がい者の場合にはなおさらである。 「カガラではない。ないまである。」カカラではない。「大きなである。」カカラではない。「大きなである。」カカラでは、大きなである。「カガラでは、大きなである。「カガラでは、大きないが、大きないが、大きないでは、大きなでは、大きないである。「地域生活の体験)に向けての支援が、、「でいるとは、おいならず、その家族の不安を軽減することに役立つと思われる。(東区18)	

運営会議 (旧まちの課題整理プロジェクトチーム) としての見解	結果	カテゴリ
を で で いつ どのように 【課題を理済】 ************************************		* * ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
住まいに関するプロジェクトキームで検討。 及び、 企営会 議で検討中の身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトキームができたらそちらでも検討をすることにする。 ※住まいに関するプロジェクトキーム (平成29年6月22日)	チームが設置。 【第34回自立支援協議会全体会】 ・身体障がい者・知的障がい者地域生活移行プロジェクトチームより地域生活拠点に関する提言について審議。全体会の委員全員から承認との回答があったことから、地域生活拠点に関する提言は自立支援協議会の委員の総意と判断し、自立支援協議会から礼幌市に対し、地域生活拠点に関する提言書を提出することとする。 ※書面決議書提出者22名。うち、承認22名、不承認0名。	掲載:地域
	【参考】 ・令和3年4月。障がいのある方の高齢化・重度化や「親亡き後」に備えるとともに、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制の整備を自指し、「地域生活支援拠点(以下、「拠点」という。)」の整備について、拠点に必要とされる機能を市内の既存事業所等が分類する形で担う「箇色整備型」により、礼帳市における拠点が整備された。 【令和3年度~4年度】 ・ いっこの記載と同様	

No. ^{ねんど} (年度)	事例、問題提起、困りごと	課題
初	誰が何を困っているのか? 〇〇が〇〇 〇〇という事例	○○という課題がある ○○が必要
	れ。「「ではない、「近郊で受けられてもらえる「大所施設が見つけられない。(有意) れない。(有意) ※値別ケースのため詳細は記載しません。	入所できる施設が見つけられない 入所施設を効果的に活用するための利用者の循環システムが必要では?地域に出られる人は出し、地域では難しい人を一定期間施設で見ていくという流れが作れたら助かるが・・・。
69 (H26)		

運営会議(旧 まちの課題整理プロジェクトチーム)における課題整理状況 (第40回 全体会 資料) プルネルボルを (in まちの課題整理プロジェクトチーム) 結果 カテゴリ としての見解 誰が ラムネいかいぎ きゅう かたいせいり 運営会議(旧まちの課題整理プロジェクトチーム)の見解を受けた結果、〇 荷を 〇部会による結果や協議会での議論の結果などを記載し、全体で共有する。 いつ どのように がだいせいりずみ - LACKVILGO しゃ ちてきしょう しゃちいきせいかついこうすいしんぶろじょくとちっむ がだ しゃ しゃかいしげ 身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームにて課 | 主:社会資 たよくほう ゖー ォ 触法ケースは、障がいだけの問題ではない。司法は、障害 即検討。 いるだし いもい 福祉に依頼してくる。入所施設だと、受入は定員がいっぱ い。触法ケースについては、発達障がい者支援手法開発会議 【参考】 掲載:地域 ・令和3年4月。障がいのある方の高齢化・重度化や「親亡き後」に備える にお願いしてもよいのではないか。 移行 CMP にゅうしょしせつ くる - ぷ。ほ - も いこう 入所施設からグループホームに移行しても、高齢になって とともに、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制の整備 施設に戻ることがあるので、介護保険に繋がることも必要。 を目指し、「地域生活支援拠点(以下、「拠点」という。)」の整備につい。 ちいき 地域での受け皿が無いから、入所施設が必要になる。入所施 て、拠点に必要とされる機能を市内の既存事業所等が分担する形で担う「面 っっ 設からの地域移行について、今後の取組をどのようにする できせいびがた 的整備型」により、札幌市における拠点が整備された。 か。次年度はアセスメントから実施したい。 【令和3年度】 LAたいしょう しゃ ちてきしょう しゃちいきせいかついこうすいしんぶろじょくとちーむ 身体障がい者・知的障がい者地域牛活移行推進プロジェクト *第36回全体会(令和3年6月) LACELLES ちてきしらう ちいきせいかついこう かん かだい 身体障がい、知的障がいの地域生活移行に関する課題についてどのように チーム設置。 していくか、運営会議でどのように引継いでいくか、具体的に検討していく ことを承認。 もいきせいかっしえんきょてん けんしょう けんとう ぱ かだい 地域生活支援拠点の検証・検討の場、課題についての報告の場について は、札幌市で検討し報告する予定と確認。 *第37回全体会(令和3年12月) きょうぎかいうんえいかいぎ かくせんもんぶかい ちいきぶかい しんたいしょう しゃ ちてきしょう 協議会運営会議にて、各専門部会、地域部会へ「身体障がい者・知的障が い者の地域移行に関する課題」の抽出依頼を行うことを確認、依頼を実施し

^{れいわ ねんど} 【**令和4年度**】

施された。

さっぽろしじりつしえんきょうぎかい そしき なか あら ちいきせいかつしえんきょてんけんしょういいんかい せっ 札幌市自立支援協議会の組織の中に新たに地域生活支援拠点検証委員会の設 ま 置が承認された。

たことを報告。抽出された課題について、各部会で解決に向けて取組みが継 ぜく こと けいぞく かいけつ tuk ばあい うんえいかいぎ ほうこく うんえいかいぎ 続できそうな事は継続、解決が難しい場合は運営会議に報告し、運営会議で

・地域生活支援拠点検証委員会に係わる準備会議が令和4年3月30日に実

mytro も 解決へ向けての取組みについて検討していくことを確認。

- Richard Company - Richard But - Mon Richard Richa ちほうこうきょうだんたい けんしょう けんとう そうかつひょうなょ ちょっくり すと よういる地方公共団体に検証および検討のための総括表及びチェックリストの様 は、またがいて検討を行っていると報告された。